

スタッフが日ごろよくお受けする相談について、まちスポ大津の理事“遠藤さん”がお応えします。みなさんの活動の参考になれば幸いです。

Q 何のために団体にするの？

子育て支援の活動を数年やってきました。「団体化しないのか」とよく聞かれますが、団体化ってなんで必要なのでしょう。

A 活動や支援の広がりが生まれますよ。

子育てについての課題を解決したいと思って始められたんですね。個人の思いで始めた活動が広がって、社会的に認知されていくことって大切だと思います。自分が支援してあげられる間は良いですが、地域で認知されて仲間が継承して、団体として組織運営をしていくと、そこから寄付につながったり、応援してくれる人が会員になり、会費などの資金をもとに継続した活動が目指せるのではと考えます。

【遠藤さん】まちスポ大津理事。前職は認定NPO法人まちづくりネット東近江事務局長。県内各地の中間支援活動に関わること20年、“滋賀のNPOのお母さん”とも称されます。

NEW!

Welcome winter

募集しています

12/2~12/16 (土)

フードドライブ実施中!



ご家庭で食べきれない、余ってしまった食品、使いきれない、もしくは未使用の日用品の寄付を受け付けています。必要とされているNPOや団体に寄付します。



2月スタート

毛糸ポンポンデコレーション 2024

～まちスポ大津のヤーンボミング活動～

ヤーンボミングとは、カラフルな毛糸で編んだモチーフを木に装飾し彩りを添えるアート活動です。葉を落とす木々の彩りとして、2022年2月から取り組み始めた活動は、今回で3回目になります。身近な場所にのぎわいづくりにみなさん参加されませんか？編み物やポンポンづくり、飾り付けに、お子様から大人の方までご参加いただけます。プレ装飾は12月20日(火)より開始。エリアを拡大したメイン装飾は2月に実施します。ポンポンの寄付などもお待ちしております！

■参加募集：ポンポンづくり&編み物ワークショップ

2/10(土) 10:00-15:00

2/17(土) 10:00-15:00



活動の困りごとあれこれに

活動資金あつめ、どうしよう？

やってみたい企画、ここでできますか？

もっとわかりやすいチラシにしたい！

何から始めたらいいのかわからない！

まちづくりスポット大津では、何かに取り組む人をサポートする活動相談を行っています。

予約制の個別相談「わかばサロン」では、まちづくりスポット大津のスタッフと、アドバイザーである認定NPO法人しがNPOセンターの経験豊富なスタッフがご活動の様々な悩みに対応します。こんな内容でもいいかな…とお考えの方、まずは一度お尋ねください。

1/11 (水)

10:30~14:00

2/8 (水)

10:30~14:00

3/13 (水)

10:30~14:00

🕒 予約制 (1時間程度)

👉 500円

📍 上記日程でご都合が合わない場合、ご相談ください。

私たち、こんな活動をしています。

- ◎ 活動の育成を応援 (講座など)
- ◎ 相談・コンサルティング
- ◎ 交流・ネットワーキング事業
- ◎ 情報収集・発信
- ◎ 「ハッシュタグ大津京」運営



公式サイト



開館から3年10か月、2023年9月18日(月祝)をもって、来館者数5万人を達成しました!この間、コロナ禍での臨時休館などの日もありましたが、ハッシュタグ大津京貸しスペースのさまざまな利用がひろがってきました。これからもよろしくお願ひします。

紙面についてのご感想をお寄せください!



特例認定NPO法人まちづくりスポット大津

〒520-0021

大津市二本松1番1号ランチ大津京内

MAIL: info@machispo-otsu.net

https://machispo-otsu.net

TEL: 077-511-9814

FAX: 077-548-6758



実施中!

contents

“彩りはぐくむ”まちづくりスポット大津助成金

“彩りはぐくむ”まちづくりスポット大津助成金は、まちづくりスポット大津に関わりを持ちながら、「地域で暮らす人の心地よい居場所をつくる活動」や「多様な人の共感・参加を促す活動」をする団体や団体化を目指す方を応援するものです。

今年度は3団体に助成し、それぞれに活動を実施していただいています。今回は、採択団体の活動内容や事業への想いをお届けします。

こんな活動をする団体を
応援する助成金です!

地域で暮らす人の心地よい居場所をつくる活動

多様な人の共感・参加を促す活動

1 道を生み出すって面白い!! ～多様な学びを知る～

団体名 / 申請者名

トーキョーコーヒー大津瀬田 TIM
(横尾 絵理さん)

事業概要

旗づくりやつくった旗を用いた旗どり競争を通して参加者が打ち解ける場を持ち、その後お話し会を開催する。教育を変えたいという思いや学びの多様性について、日常で抱えている不安などを吐き出すことができる場と仲間づくりにして体感する。



採択事業への想い

私がこの事業を立ち上げたのは、教育のアップデートと、学校で学ぶことが当たり前、皆と同じであるべきという風潮を変化させたいと思ったからです。活動を通して、大人と世間が変化していくことで、子ども達の成長にも良い変化をもたらすと考えています。

2 スパークルキッズ滋賀

団体名 / 申請者名

スパークルキッズ滋賀
(杉岡 由香さん)

事業概要

子どもの個性と感情を大切に、ありのままに提供される場所を提供する。遊びを通して体幹やバランス・リズム感などあらゆる動きを習得し、どんなスポーツにも生かせる体の土台をはぐくむ。また、フラッシュカードを大きな声で読み取り発表をすることで、コミュニケーション能力を高め心の土台を育む。



採択事業への想い

子育て世帯に寄り添う居場所作り。人との関わりを大切に、子どもたちの「生きる力」を育てるため、運動やコミュニケーションを通して皆さんの「できた」を経験する場にします。また、保護者の交流の場になるよう、地域に根付くコミュニティを目指します。

3 親子が輝く 英語 de モンテッソーリ

団体名 / 申請者名

こどもの家 GALILEE (ガレリー)
(兵庫 江美さん)

事業概要

地域の子どもたちやその家族に対して、外国語教育や子育て支援事業を行う。知育教育としてではなく、本来のモンテッソーリが目指す、個々の持っている良さを認め合い、家族的な雰囲気の中で成長の過程を見守り励ましあう学びの環境を目指す。



採択事業への想い

核家族化やコミュニケーション不足の現代社会において、特に感覚の敏感期であり価値観の70%が決まる幼児期に、五感で実際の体験や関りができる場所を提供し、子どもが居場所を感じながら自主的な取り組みや表現を楽しみ、健やかに暮らせる社会づくりを目指しています。

あつまれ!! ブランチキッズ探検隊 vol.6

2023年8月24日(木)、あつまれ!! ブランチキッズ探検隊 vol.6 を開催しました。ブランチ大津京の店舗の協力を得て、子どもたちにお店それぞれの仕事を体験してもらおうという企画です。子どもの好奇心を引き出し、働くことに触れ、人とのコミュニケーションを培う機会として、毎回参加者の関心が集まる企画でもあります。

今回は15店が参加し、23プログラムを企画、のべ68名の子どもたちに参加いただき、それぞれの体験を楽しみました。定員が少なくなったプログラムもありましたが、お

店のスタッフのみなさんのホスピタリティ溢れる対応に子どもたちの笑顔があふれた時間になりました。保護者の方へのアンケートでは、「とてもよかった」が約73%、「よかった」と併せて100%の回答となりました。

昨年度からは、運営に学生ボランティアを加え、私たちまちスポ大津にとっても新しい方との繋がりの実践の場となっています。今回も2大学から11名の参加がありました。学生からは、子どもたちが真剣に取り組む様子に刺激された、という声が集まりました。店舗の方とスタッフのサポートで、子どもたち

が安心して楽しそうに参加する1日になりました。

ブランチキッズ探検隊の活動を通して、各店舗を身近に感じ、日常のお客様と店舗という関係だけではなくコミュニケーションが育まれることを期待しています。



【協力店舗】

マックスバリュ・Flower produce ichica・Whip Whip・チャーリーディーエス・おうちづくり相談室・ユニクロ・ジュー・ソフトバンクBRANCH店・JINS・ロンフーダイニング・クラウンカー&ケバブ・ちゃんぽん亭総本家・エコイトランチ大津京店・SG-Park・管理事務所

KON-KON! おじゃまします



来館者5万人記念!

2019年11月29日、「市民活動を支援する民間の公民館」をコンセプトにオープンした「まちづくりスポット大津(ハッシュタグ大津京)」は、2023年9月18日「子ども向けロボットプログラミング教室」でのご利用をもって当初からの来館者数が5万人に達しました。あらためまして皆様のご利用に感謝申し上げます。今回はその記念として、教室の主催団体「ハイブリット型個別指導塾BASE」の代表中西信さんにお話を伺いました。(聞き手:藤田)



中西 信さん

ハイブリット型個別指導塾 BASE 代表、現役の企業SEでもある

「プログラミング」で動かすことを通して、問題解決能力や論理的思考力の向上を目的としています。現在は来年1月からの定期教室化に向けて毎月1~2回、ハッシュタグ大津京もしくはびわこ大津館で体験会を開催しています。対象は年長~小学6年生。授業の規模は講師1名に対し生徒1~3名。所要時間は40分~60分、参加費は初回1,000円、2~4回目は2,000円以内で提供させていただきます。

はじまりの問題意識

藤田:なぜ、プログラミング教室を始めようと思ったのですか?

中西:私には元小学校教諭の友人がいて、

子どもたちを笑顔にできる質の高いサービスを提供したいという想いが同じであったことから共同経営でオンラインと対面のハイブリッド型の学習塾を始めました。そのなかで私はプログラミング指導を担当しています。プログラミング教育は小中学校の必修科目となったものの、市や学校による意識の差やICT環境の整備不足、セキュリティリスクなどといった課題があり、地域によってカリキュラムや取り組み方に大きな差が生じているのが現状です。プログラミングに関心をお持ちの保護者の方も多いため、民間の学習塾やプログラミングスクールへの期待の高まりを感じており、今回新たに対面式のプログラミングコースを開講することにしました。

教室の強みと伝えたいこと

藤田:他の学習塾にはない「ハイブリッド型個別指導塾BASE」の強みを教えてください。

中西:当塾の強みは現役SEと元小学校教諭がもつ専門性の相乗効果です。そこにオンライン指導か対面指導を選択できる利便性をプラスしてサービスを提供しています。共同開発するプログラミング教材は、実践的な課題を通して気づきや学びを得られ、算数や理科など他の教科につながる教科横断的な学習能力の向上が期待できるものになっています。

まちスポ保健室~じぶんとたいせつなかぞくへ~

2023年9月9日(土)、ブランチ大津京では恒例の手作りマルシェとともに、大津市民病院が主催する「健康フェスタ」が開催されました。私まちスポ大津では自分と大切な家族のためにも乳がん・産後ケア・子どもの健康の正しい知識を知ってもらい、家族でのセルフチェックの大切さを伝える活動をしている個人・団体に協力いただき、地域の方やブランチ大津京に来場された方へ向けて、展示・ワークショップ・ミニセミナーで健康の情報発信を行う「まちスポ保健室」を開催しました。当日は協力者を含め95名の来場がありました。



参加いただいた団体は県内各地を拠点とする、活動を始めて3年未満の団体ばかりで、大津での啓発活動に工夫をされています。屋外はイベント内容がわかるようにディスプレイされ、気楽に中に入ってもらえるように10円バザーを開催。室内では子ども向けのワークショップを用意し、展示や体験・相談ブースを設置されていました。来場された方が、展示を見たり、気になることを質問されている姿が多くありました。

市民活動支援に取り組むまちスポ大津として、それぞれが意見を交わすことで今まで見えなかった部分に気づきをもってもらえるように交流会を行いました。

参加団体からは「初めての展示に必要な資料を集めるために、他の団体に声をかけることができ、つながりを持つことができた」「他団体の展示からの学びがあり活動の目的が明確となり組織強化につながった」「活動団体の交流会はなかなかないので今後もお願いしたい」との声がありました。

【協力団体/活動】

- bc-life ピンクリボンセルフチェックキャラバン(乳がん啓発活動)
- Birth For the Future@しが(産後ケア・お産・子育てを考える活動)
- からだいちから(昨年の助成金採択団体/子どもの体や栄養についての活動)
- 京都タオルの帽子の会(展示のみ実施/がん患者への支援活動)

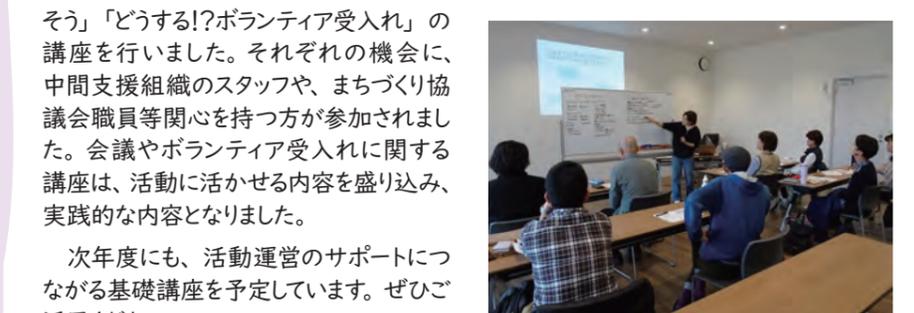
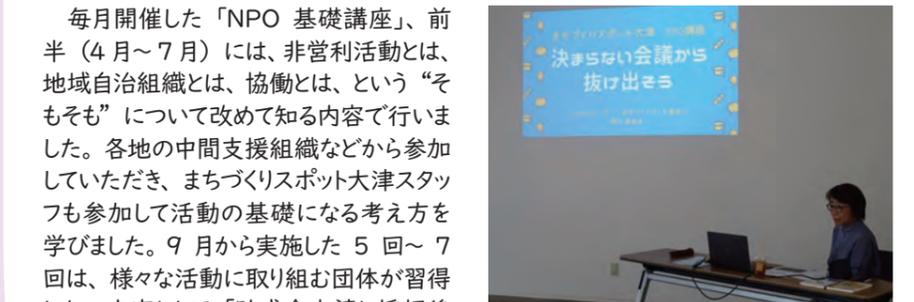


今後も、活動団体の想いを地域につなげる取り組みを続けていきたいです。

NPO 基礎講座を開催しました!



NPO 法施行から25周年を迎える今年、コロナを経て少なくなった非営利活動に関する基礎研修を復活させようと、「NPO 基礎講座」を開催しました。基礎知識や実務の基礎を学ぶ講座を4月から11月までで7回行いました。



毎月開催した「NPO 基礎講座」、前半(4月~7月)には、非営利活動とは、地域自治組織とは、協働とは、という「そもそも」について改めて知る内容で行いました。各地の中間支援組織などから参加していただき、まちづくりスポット大津スタッフも参加して活動の基礎になる考え方を学びました。9月から実施した5回~7回は、様々な活動に取り組む団体が習得したい内容として「決まらない会議から抜け出そう」「どうする!?ボランティア受入れ」の講座を行いました。それぞれの機会に、中間支援組織のスタッフや、まちづくり協議会職員等関心を持つ方が参加されました。会議やボランティア受入れに関する講座は、活動に活かせる内容を盛り込み、実践的な内容となりました。

次年度にも、活動運営のサポートにつながる基礎講座を予定しています。ぜひご活用ください。

また、学びの意欲や集中力を引き出す指導を心がけると共に、子ども自身の心を育む意味で情報を扱うリスクや情報倫理についても指導していきたいと考えています。

これからの展開について

藤田:最後に今後の展望を教えてください。

中西:これまでのオンライン授業も継続しつつ、まずは来年1月から開講する対面式のコースで多くの子どもたちに満足してもらえるサービスを提供することが目標です。そして、その次の展開として4月以降教科指導をOPENし、BASEのサービスを充実させていきます。

藤田:中西さん、貴重なお話をありがとうございました。体験会は毎回盛況とのことで、人気の学習塾になっていくことを期待しています!



LINE公式アカウントはこちら



教室風景 生徒が自ら考え試行錯誤することを重視し簡単には答えを示さない